

- ・ 室蘭工業大学に部材を送る場合何日着でどこに送ればよいでしょうか？
- ・ 宅急便で部材などを搬入する予定ですが、到着予定日は初日(6日)もしくは前日(5日)、どちらがよいでしょうか。
→受け取りもあるため、下記の住所へ時間指定を行い発送すること。
〒050-8585 北海道室蘭市水元町 27-1
室蘭工業大学 体育館 (JSBC2023 会場)
連絡先：室蘭工業大学大学院工学研究科土木工学ユニット 瓦井 智貴
電話番号：080-1890-1893 (瓦井直通)
配達日時指定：9月6日(水) am ※保管場所が十分ないため日時指定要
- ・ 最終日の後片付けは閉会式の前にできますでしょうか。(帰りの飛行機の関係で、閉会式終了後の16時過ぎには出たいと考えています。)
→問題ないと思うが、別途、相談する。
- ・ 今年度は木づちの使用は認められますか。
→使用可能。ただし、部材が変形するような力での使用は禁止。工具として扱うこと。
- ・ ポケット、ポーチや紙コップ等にサイズの制限はありますか。
→特になし。
- ・ ボルトの強度区分に関する制限はありますか。強度区分の12.9は使用しても問題ありませんか。
→問題なし。
- ・ 製作時の動画や製作した橋を説明するポスターの提出は必要か
→別途、瓦井先生からも連絡があると思うが、現段階の事務連絡は、下記のとおりである。
(瓦井先生からのメールをコピー)

① チーム紹介 PPT の作成

例年通り、各チームのメンバーなどを紹介する PPT (あるいは動画など) の作成をお願い致します。

1 チーム最大4分の持ち時間とし、短い分には構いません。

また、今年度より各チーム(研究室)の**研究**についても発表するようお願いできますでしょうか。

こちらの特段内容や流れについては指定はございません。

チーム紹介+研究紹介で4分程度をお願い致します。

ファイルは当日受付にて回収しますので、USB 等で持参するようにお伝え頂けると幸いです。

(なお、日大と本学についてはチーム A/B がございますが、まとめて発表して頂いても構いません。)

② 各チームの研究紹介用 A0 ポスターの提出

以前すでに各チームリーダーに連絡済みですが、

各チームの研究紹介用の A0 ポスターを作成頂き **PPT および PDF ファイル**

8月末までに瓦井 (kawarai@muroran-it.ac.jp) まで送付下さい。

ポスターのテンプレートは送付済みです。

(こちら、日大と本学についてはチーム A/B で1つでも OK です。もちろん2つ提出頂いても良いですが。)

当日、体育館入り口周辺に飾る予定です。

③ 橋梁模型紹介用 PPT およびポスターの作成

こちら例年通りですが、载荷競技前に使用する各チームの橋梁紹介用 PPT の作成をお願いします。

5分程度の発表を予定しております。

また、架設競技後の美観部門投票時に橋梁の近くに置いておくポスターも作成・**持参**ください。

こちらのポスターはサイズ・デザインに指定はございません。

例年通り、自由に作成頂ければと思います。

PPT ファイルはチーム紹介 PPT と同時に当日受付にて回収します。

- 足は川の位置にあるが、川の人が身を乗り出して陸エリアの架設をしてもいいか？ (逆の場合も)
→基本的問題ないが、衣服等の接触もペナルティの対象となる。
- 3部材以上を繋げたブロックを送り出す際、必要人数は2人でよいか？
→架設ブロックは橋台に接触していると架設部になる。この場合、送り出し架設は1名でも可能である。ただし、橋台から離れた場合には、架設ブロックとなるため、ペナルティの対象となる。
- 3部材をボルトで仮留めした架設ブロックは緩んでいてもよいか？
→特に問題なし。
- 3.2.5(1)b)v 紙コップ等とあるが、プラスチックのケースでも良いか
→特に問題なし
- 3.2.6(10)仮設ブロックが空間外に出たらどうするか、ペナルティなどはあるのか
→ルールブックに具体的なペナルティについて記載はないが、図-3.1の架設作業空間よりも外に出た場合には、随時議論してペナルティを加える方針である。
例1) 審判によって競技中に止められる場合には、3.2.7に従う。
例2) 審判による中断がなく発覚した場合は、違反状況の聞き取りや、動画がある場合には視聴して、ペナルティを加算する。
- 1.3.4(2) 危険な行動とは何か
→3.2.13に記載の行動に加えて、審判団が明らかに危険だと判断したもの。随時判断を行う。
例1) 送り出し架設中に、対岸の橋台に勢いよく落下させるなど。
- 2.1.17(2)地面とあるが、河川の場所においては使用できるのか
→使用できないものとする。

- 3.2.2 仮設時間の上限が 30 分とあるが、ペナルティなどで加算され、30 分を超えた場合の処置はどのようなになるのか
→その場合には、6.4.11 に従い、計算される。
- 3.1.4 副リーダーも出席することができるかどうか
→可能である。
- 3.2.6(3) 安定、不安定の基準は何か
→橋台に仮設ブロックを設置した際に、手で支えるなど外力を加えなくても安定性が保たれている状態を安定、それ以外は不安定である。
- 3.2.5(3) 安定とチームリーダーが発言したどのタイミングでタイマーが押されるのか
→「安定」と言い終わった瞬間にタイマーを押すように周知する。
- 3.2.10 5kgf 程度の程度とは何か
→ばね秤で 5kgf を載荷する場合、一致させるとは難しいため、程度という表現を使っている。また、載荷時に橋梁が軽量で支承部が動く場合には、支承部を固定して載荷する。
- 3.2.13(5) 落とした留め具は架設ヤード内で落下したものも含まれるのか
→架設ヤード内は特に規定はない。
- 4.2.2(1)e) 女性が河川で架設を行った場合の計算方法がわからない。1.8 にさらに 2 が掛け算されるのかどうか

	陸上作業員数	河川内作業員数 (×2)	架設作業員の総数
陸上作業員数 4, 河川内作業員数 2 (すべて男性)	4	$2 \times 2 = 4$	8
陸上作業員数 4 (1) , 河川内作業員数 2 (1) (陸上作業員数, 河川 内作業員数ともに女 性が 1 名ずつ)	$3 + 0.8$ 3.8	$1 \times 2 + 0.9 \times 2$ 3.8	7.6

- 5.4 マスク着用必須とあるが、現場監督者ではない架設者もマスクをしても良いのか
→大学の規定も廃止になくなったため、個人の判断に任せる。
- 4.2.4 と 6.4.11 で所要時間が異なるが、どちらが正しいのか
→時間がオーバーした場合には 60 分として計算する。

- 経過時間に関して架設競技中にアナウンスはあるのか
→腕時計等を用いて、自分たちで管理する。ただし、競技部会から大まかなアナウンスがある場合もある。
- 架設中に橋の足を浮かせることや、橋台の端にひっかけることはしても良いか
→架設部がすべての橋台から離れなければ浮かせることは可能である。（橋台に1点でも接触していること）
→橋台の上面に接触している状態で、端部に引っ掛けることは可能である。
- 河川内作業者が、橋台においてある部材や工具などを手を伸ばして取ることは可能か？
→架設部材や架設ブロックのみを可能として、工具やボルト等は陸上作業者からの手渡しとする。
- 錘の載せる順序に規定はあるか？
→片側 80kgf を載荷するまでは、a 桁と b 桁を交互に載荷する。
- プレゼンテーションについて
→代表者1名が発表し、質疑応答は、回答できる人が発言しても良い。

各部会からの事務連絡

- 明日 8/25 までに、室蘭工業大学への交通手段や参加人数を提出すること
-